



**2014-2015年度 主題**

国際会長 Isaac Palathinkal : "Talk less, Do more"  
「言葉より行動を」

アジア会長 岡野泰和 : "Start Future Now"  
「未来を始めよう、今すぐに」

東日本区理事 田中博之 : 「誇りと喜びを持って」  
"With Pride and Pleasure"

湘南・沖縄部長 峯尾 舜 : 「一人は皆のために 皆は一人のために」  
クラブ会長 鈴木 茂 : 「親睦!と奉仕!」

**2015年3月号 <BF・メネット>**

**今月の聖句**

「それから、イエスは皆に言われた。『わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを救うのである』」

ルカによる福音書9:23-24

**2015年3月本例会**

日時:2015年3月27日18:30~

場所:かけはし都筑

受付:(報告書) 岡崎さよ子

司会:岡田勝美

プログラム

開会点鐘 鈴木 茂会長

ワイズソング・信条 一同

今月の聖句 相賀牧師

ゲスト・ビジター紹介 司会者

会長挨拶 鈴木 茂会長

卓話

**「YMCAとわたし」**

かながわ国際交流財団

専務理事・横浜 YMCA 常議員

水田秀子さん

YMCA報告 生井担当主事

誕生祝い

3月22日 相賀 昇さん

3月31日 辻 孝子さん

各種アピール

閉会点鐘 鈴木 茂会長

~~~~~

閉会后水田さんを囲んで会食・懇親会を「わん」(都筑区茅ヶ崎中央3-25 aune KOHOKU 2階、センター南駅隣接)で行いますので、ご参加ください。

**<恩師を偲びつつ>**

今城宏子



「春は名のための風の寒さ」を感じる中、紅白の梅が満開となっています。レント(受難節)の時にあって自然の中に示される神様の恵みを思います。

2月号に相賀チャプレンが恩師についての思いを述べておりましたが、今はその記事の中にお名前があった今井鎮雄

先生の思い出を書かせて頂きます。

昨年(2014)の11月3日に93歳で天に召された今井先生は皆様も良くご存じのように日本で最初に組織キャンプを始められた「キャンプの神様」と呼ばれる方です。神戸YMCAの小豆島にある余島キャンプのメインホールの前には「人と出会い 神と交わり 愛の火の もえるところ」との今井先生の言葉が刻まれています。長期少年キャンプ(男子)、短期少年キャンプ(男女)、家族キャンプ、肢体不自由児キャンプ等数えきれないキャンパーが大自然の中で生活を共にし得難い経験をし、送り出されました。私どもが大学生のリーダーとして参加していた当時、キャンピングには電気もなくランプ生活で、水洗トイレがあるわけもなく今から思うと良くあんな生活が出来たナーと・・・。

(今は施設も建て替えられ電気や水道もひかれています)キャンパーもリーダーもその中で自然の恵みに感謝し、お互いに助け合って生きていくことを学びました。キャンプの最後の夜にカウンスルファイヤーといってキャンプファイヤーを囲んで礼拝が持たれます。今井先生は声の大きいことで有名でしたが真つ暗な中燃え上がる炎を囲み先生のお話に聞き入る時、まさしく「人と出会い 神と交わり 愛の火がもえる」のでした。「ファイヤーの薪が四角く組み合わさっているからこそ勢いよく燃えることが出来る。そして薪は燃えることによって光と暖かさを周囲に与える」何度も聞いているお話なのに感動したのでした。そして今もあらゆる場面でこのことを思います。ワイズの活動は一人ではできないことを皆が色々な役割を担うことで続けていくことが出来ます。また、今井先生は常に小さい弱者の視線にたつことを大切にされていました。先生が中心となって始められた社会福祉活動、ボランティア活動等、すべてにこの視点が反映されています。(次頁に続く)

**前月データ**

|        |        |
|--------|--------|
| 在籍会員数  | 18名    |
| 例会出席者  | 27名    |
| メンバー   | 13名    |
| ゲスト    | 14名    |
| ビジター   |        |
| メイキャップ | 4名     |
| 月間出席者  | 17名    |
| 出席率    | 94%    |
| プルタブ   | 38.0kg |

**4月例会予告**

4月本例会は、慶応義塾大学経済学部教授・細田衛士さんから「環境経済学における諸問題」と題して卓話をいただきます。細田さんは、2010年横浜国際大会のユースコンボケーションで基調講演をしてくださいました。

**本例会:4月24日(金)18:30~21:00**  
**例会場:かけはし都筑**

4月事務例会は、14日(火)18:30から田園都筑教会で行います。5月富士山例会の役割分担詳細や10周年記念事業の準備について話し合います。

イエス様に倣って歩むことは難しい、しかし先生は確かに実践されていました。私どもも続きたいと思います。東日本大震災から4年、被災地の苦しみを忘れることなく寄り添っていきたい、どんなに小さなことでも続けていききたいと思います。また、人の命がいとも簡単に無残に奪われるニュースが溢れる昨今、私たちに何ができるのか、回答は容易く得られるものではないでしょう。でも一人ひとりの命が神様から与えられた大切なものであることは伝えていけるかもしれません。

今井先生の思い出は卒業してからも数えきれないほど。結婚式のお仲人をして頂いたこと、高之の駐在に伴って移り住んだパリにもブラッセルにもご夫妻で来訪下さったこと、そして一番最後にお会いしたのは富士山エコヴィレッジが出来て間もなくキャンプリーダー関東在住のOB会に出席頂いた時でした。少し前に癌の手術を受け声が小さくなられた以外は変わらずお元気に神戸から駆けつけて下さり、キャンプへの情熱やボランティア活動への励ましを語って下さいました。早天礼拝では原稿なしに1時間の説教！朝食の時間が過ぎてちよっとハラハラしましたが、先生が超多忙なこの世での日々を終えられて神様の御手のうちに安らかに休息を得ておられますよう祈るものです。

## <2月本例会報告>

日時:2015年2月27日(金) 18:30~20:30

会場:横浜北YMCA、敦煌

出席者:相賀, 今城 T, 岡田 K・M, 岡崎, 鈴木 K・S, 田中, 生井, 林 M・S, 福島, 横田,

4年目となる横浜北YMCAとの交流例会です。例会の前に横浜北YMCAに集合し施設ツアーをしました。茂木雄氏を初めYMCAより14名が参加しました。

第一部 ワイズソング・ワイズ信条の後、相賀チャプレンによる今月の聖句と祈祷がありました。「愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。ローマ12:19、神の怒りに場所を譲りなさい。怒りの空間を作りなさい。真の平和を願っていきなさい。、、、」

○卓話「全国リーダー研修会報告・ユースリーダーの働き」



報告者は、横浜北YMCAユースリーダー 星野 唯さんです。彼女は大学院の学生でYMCAでは「トライアングル」を担当しています。第45回研修会は富士山YMCAで2014年11月1日より3日まで行われました。100名が集

まり、テーマは「担い手として自らが気づき、考え、自ら動く」でした。「社会的課題に気づく」「身近な社会問題を考える」と議論を進め、10テーマ・12グループに分かれました。星野さんは福祉グループに入りました。

「発達障がい者への理解が無い」など問題の分析と明確化を話しあい、ACTIONとして「短期で個人でできそうなこと」「中期・長期的にYMCAでできそうなこと」が提案されました。最後に記念植樹や宣言動画を撮りました。

ワイズの信条に「青少年のためにYMCAにつくそう」とあります。この「全リー研」はワイズの支援金が役立っています。

○誕生祝は山添 訓ワイズと星野 唯さんです。当日はちょうど星野さんの誕生日だったので、花束が贈られました。



○各種報告・アピールとして

・2/11YMCA会員大会がありました。500余名の参加があり盛大でした。(横田)

・YMCA維持会員増強キャンペーンでは1500名の目標に後50名となりました。あと一歩の努力を増強委員長としてお願いします。(鈴木)

第2部は交流会です。林Sワイズの開会祈祷で始まりました。進行は生井ワイズ、乾杯は今城Tワイズでした。

その後相互に自己紹介をしました。みんなで話も盛り上がりYMCMファミリーを感じました。“YMCAの各種活動に参加していただき感謝しています。3/22チャリティーサッカー大会があります。できることで参加してください。(生井)”とのアピールがありました。

閉会挨拶は横田ワイズでした。これからもYMCAの活動に関心を持ち支援をしていきたいと改めて感じました。例年行われているこの交流会は相互理解に大変役立っていると思います。(岡田美和 記)

## <3月事務例会報告>

日時:2015年3月10日(火) 18:30~21:00

場所:田園都筑教会

出席者:今城 H・T, 岡崎, 岡田 K・M, 鈴木 K・S, 田中, 辻 Ts, 林 M・S, 福島, 横田

1. 会長挨拶:『次期会長・部役員研修会に出席した。部長、会長は年配の方が多いが、区の事業主任さん達は若返った。夜12時まで部単位で議論した。「東日本区ニュース(第9号)の「新入会員の紹介欄」に久保勝昭さんが載っています。ご覧ください。』



## 2. 報告・連絡

- (1) 3月27日(金) 18:30～ 本例会 かけはし都筑、司会：岡田勝美、受付・ブリテン：岡崎さよ子、卓話：水田秀子さん(公益財団法人 かながわ国際交流財団 専務理事)・「YMCA と私」、会食・懇親会：「わん」⇒確認済み。
- (2) 4月24日(金) 18:30～ 4月度本例会 かけはし都筑、司会：辻 孝子⇒辻剛に変更、受付・ブリテン：福島佐世子、卓話：細田衛士さん(慶応義塾大学経済学部教授 「環境経済学における諸問題」)。
- (3) 「みんなの家」報告 by 鈴木恭子さん⇒「COCOの会」/3月はお休み。4月からは当クラブの代表は今城宏子さんに交代。恭子さん長い間ご苦労さまでした。
- (4) 「アーモンド」報告 by 林理子さん⇒中学3年生も教えているが全員希望校に入学。
- (5) 山元町(みやま荘・南保育所) 関連 by 林茂博さん⇒昨年の4月以降毎月BDカードを送っている。最近では催促しなくても当月誕生日を迎える方の名簿を送っていただいている。インフルエンザの予防期間の解除がまだなので次回の訪問時期は未定。
- (6) 「ドライバー制」の件⇒辻 TS よりドライバー担当の提案を行い、横田さんと岡崎さんにお問い合わせが即答を頂けなかった。いくつかのグループに分けて順番に担当したらどうかなどの意見が出され、継続審議とした。
- (7) その他⇒3月本例会：横田さん、田中さん、福島さんは欠席。

## 3. 協議

- (1) 西宮クラブ(西日本区六甲部)からの「盛岡YMCA 宮古地域震災復興支援募金」について⇒暫く様子見とする。
- (2) 第18回東日本区大会での物品販売コーナー出店希望照会⇒希望しない。
- (3) 今・来月のCS活動
- ① すぷーん(月) 調理ボラ⇒原案の通り。
- ② GTL(水) 傾聴ボラ⇒3/11 林理子さんを追加。
- 「富士山例会」の準備 [5月22日(金)～23日(土)]
1. 参加予定者、ゲスト：富士五湖クラブを始め近隣のクラブに声掛けを検討する。参加費(未定)は原則として頂く方向で検討する。
2. 卓話：山添 訓前担当主事または生井知三担当主事をお願いする予定。⇒山添氏をメインに検討する。
3. 懇話会：横浜つづきクラブ10周年記念事業⇒次年度に引き継ぐ前提で検討する。
4. 懇親会(BBQ)：
- 食材担当：林茂博さんが「さのまん」より購入。但し、野菜類は女性陣が手配する。飲み物担当：横田さんとするも原則的にはYMCAに依頼する。
- 焼き方担当：基本的には希望者中心をお願いする。
5. 懇親会(アトラクション)：
- 担当：久保勝昭さん(歌舞音曲)、生井知三さん(ゲーム等)

(書記 辻 剛 記)

## &lt;横浜YMCA 会員大会報告&gt;

## &lt;ONE WORLD ONE LOVE ONE HEART&gt;

横浜YMCAは、創立130周年記念として、昨年2月から維持会員増強キャンペーンに取り組みました。2月15日現在で1442名(目標1500名)が維持会員になりました。

キャンペーンの一環として新しい維持会員を歓迎し、維持会員相互の親睦と交流、学びの機会として「横浜YMCA 会員大会」が湘南とつかYMCAで開催され530名の維持会員やプログラム会員と其の家族、賛助会やユース、ボランティアなどが参加し、16:30まで終日にぎわいました。

オープニングの開会礼拝は、横浜つづきY'sの相賀牧師から「共に喜ぶ横浜YMCA」と題してメッセージがありました。出席できなかった方にも、ぜひお伝えしたいメッセージでしたので、相賀牧師からその要旨をいただき、掲載いたします。

## 横浜YMCA 会員大会・開会礼拝

## 「共に喜ぶ横浜YMCA」

## 聖書：ヨハネによる福音書4章35-38節

横浜YMCA 創立130周年を記念して本日ここに会員大会を開き、こうして皆さまとともに開会礼拝をもてますことを感謝いたします。特に今日は新しく維持会員になられた方々を歓迎し、またメンバー相互の親睦・交流・学びのときでもあります。ところで実は私は今しがたYMCA ゴスペルクワイア戸塚の皆様によって「リジョイス」と歌われた偶然にたいへん驚いております。というのも今日与えられた御言葉に「共に喜ぶ」(リジョイス トウギャザー)とあるからなのですが、本日はまたメンバー同士が収穫に与っていることを共に喜ぶ日であろうと思います。

ただ今、イエス様の種蒔(たねま)きと刈り取りのお話を聞きました。「刈り入れる人は報酬を受け、永遠の命に至る実を集めている。こうして、種を蒔く人も刈り取る人も、共に喜ぶのである。そこで『一人が種を蒔き、別の人が刈り入れる』ということわざの通りになる」(36～37節)。種蒔きと刈り入れは、普通は一人の人によってなされるものです。ただひたすら種蒔きだけをするのではやる気がなくなってしまいます。やがて色づいて刈り入れの時がくる。それを楽しみにして、人は種を蒔くものでありましょう。ところが教会の伝道とか宣教、あるいは身近にYMCAの活動にお誘いすることを考えましても、必ずしも同じ人が種をまいて収穫するかというと、そうではありません。聖書に記されていることわざのとおり、しばしば「一人が種を蒔き、別の人が刈り入れる」ということが起こります。

それは第一義的にはイエス様と弟子たちとの関係を表しております。「あなたがた自分では労苦しなかったものを刈り入れるために、わたしはあなたがたを遣わした。他の人々が労苦し、あなたがたはその労苦の実りにあずかっている」(38節)。労苦したものと、そうでなかったものとの関係は、まず、イエス・キリストが種を蒔いたもの、労苦したものを、やがて弟子たちが刈り

入れる日が来るということでありましょう。そしてそこでまた弟子たちが種を蒔いたものをその次の世代が刈り取っていくのです。時には、種蒔きだけをして、殉教者として死んでいく人もありました。その一番の典型がキリストではなかったでしょうか。このところ毎朝の連続ドラマで中島みゆきさんの主題歌「麦の歌」が流れておりまして、そのリフレインでは「麦は泣き、麦は咲き、明日へ育てゆく」と歌われるのですが、何かイエス様のお姿と重なって聞こえてくる気がしてなりません。イエス様は一粒の麦が地の上に落ちるように十字架で死んでいきましたが、それが後に芽をだし育てて実を結ぶようになっていきました。

このような事実は、私たち横浜YMCAにおいても忘れてはならないことであろうと思います。創立130周年となるYMCAが今日あるのは、多くの先輩方、そして会員の方々の種まきのゆえであります。その方々が種を蒔いてくださったものを、私たちが今、刈り入れているのです。ですから常に前の世代の方々のご労苦を思い、感謝しなければならぬと思います。そして同時に私たちも、次の世代の人々がやがて収穫を得ることができるように、新たに種蒔きをしていかなければならない。刈り入れをしながら種まきをしていく。ひとつひとつの業が刈り入れであると同時に、種蒔きになっていくのです。それが伝道・ミッションの、そして神様の業の不思議なところですね。そのようにして初めて、「こうして、種を蒔く人も刈る人も、共に喜ぶ」(36節)ということが実現するのではないのでしょうか。

最後にあらためて、主イエス・キリストが最初の種、一粒の麦となってご自身の命を捧げてくださったことを心に刻みたいと思います。そしてそれがゆえに、今こうして私たちはYMCAの使命のために種を蒔きつつ、また刈り取るものとされているわけです。本日はその収穫を共に喜び、これからも神様に感謝して歩むものでありたいと思います。

開会礼拝に続いて、被爆ピアノコンサートとピースメッセージから全体プログラムは始まりました。広島でピアノの調律を行う矢川光則さんとピアニスト向井理佐美さんによる「被爆ピアノコンサートとピースメッセージ～平和の想い、みらい、明日につなぐ～」と題して被爆当時の写真などを通して説明があり、被爆ピアノによるピアノ物語と朗読と演奏があり、参加者とともに平和について考える機会になりました。

玄関ロビーから、1階ホールと駐車場、2階語学教室、5階専門学校教室を使い、展示コーナー、発表コーナー、フードコーナーが設置され、国際支援の報告や様々な活動の報告が56のプログラムで行われました。当然、ワイズメンズクラブの紹介コーナーがあり、展示と林茂博Ysによるワイズ活動についてのコーナーがありました。

久しぶりに会う人や初めての出会い、ユースリーダー、中高生、子供たちなど多様な世代の方々との出会いがありYMCAの多文化共生を感じました。130年の間にはたくさんの方が種を蒔いて、多くの種がまかれて、その都度実りがあったことを知る機会ともなりました。

会員増強委員会(鈴木茂委員長)に属し、湘南・沖縄部Ysを代表して会員大会実行委員会(岡戸良子委員長)のメンバーに加わり、プログラムを企画して不安はありましたが、当日を迎えて上記のごとく成功に終わったことは本当に幸せでありました。

(横田 孝久 記)

### <大和YMCA「輪和Waコンサート」に参加して>

100回開催を目指す“障がい児・者と共に歩む一輪和Waコンサート”が、2月21日(土)大和市保健福祉センターホールで行われました。今年、逆算で今回は93回(8回目)と数えています。

寒い2月としては暖かい晴天に恵まれ大勢の人が集まりました。つづきクラブでは鈴木S・K、林S、岡田K・M、生井各ワイズが参加しました。

大和YMCAライフサポートセンターの他、大勢の方々の応援がありました。場内は静かではなく時折奇声や手をはたく音がします。しかし皆慣れた様子で音楽を楽しんでいます。8回目の実績でしょうか。フルート奏者がオカリナを吹いてくれました。その音色にうっとりしました。パン工房「麦の香り」のパンレットの見事なこと、今も手元にあります。おいしいパンを買って帰りました。



ワイズの信条の一つに「青少年のためにYMCAにつくそう」とあります。YMCAの催しに参加し、パンを買うことも「ありかな」と勝手に思いました。

わが横浜つづきクラブは、このコンサートの趣旨に賛同し、同じ「障がい児・者と共に」として「You&Iコンサート」を行っています。今年10月3日土曜日が開催予定日です。今から予定の中に組み入れてください。

(岡田 勝美 記)

### <区社協の組織と当クラブの位置づけ>

3月13日区社協の専門機関部会・地域福祉関係団体部会第1回合同部会に出席しました。そこで初めて当クラブの区協内での位置づけを認識しましたので、報告します。

区社協は、地域福祉関係団体・当事者団体・専門機関・学識経験者部会の4部会、8分科会・社会福祉関係行政機関・学識経験者で組織され、私たちは、地域福祉関係団体部会のボランティア・市民活動等分科会に所属する会員です。今年度に引き続き、来年度も林理子さんがボランティアセンター運営委員に選任されています。主な所管事項は、ボランティアセンターの運営と善意銀行等の配分審査に関することです。つづきふれあい助成金の配分は、別の委員会の所管事項となります。(林茂博 記)



## ＜次期クラブ会長・部役員研修会報告＞

3/7(土)8(日)の2日間にわたる「次期クラブ会長・部役員研修会」が東山荘で行われ、95名のワイズが出席しました。



当クラブから、今城高之・岡田勝美・鈴木 茂・辻剛・林 茂博の5名が参加しました。この5名で次期部長・部書記・部会計とクラブ会長・副会長・書記・会計をカバーします。クラブ4役全員が出席したクラブは、他にない快挙?ですが、新鮮味に欠けているのは、否めない事実と自戒の念を強く持ちました。

それに引き替え、次期理事キャビネットの若々しさが輝いて見えました。大いにワイズの若返りを推進する、新鮮なリーダーシップに期待しましょう。

研修会のプログラムの枠組みは踏襲されていましたが、LT委員の経費節減の努力で、運営に工夫がみられました。



上の写真は、その工夫の一つでロビーを活用しての分科会です。撮影は、横浜とつかクラブの加藤利榮さん、写真左から横浜とつかクラブ浦出さん・吉原会長、わがクラブ鈴木会長・横浜クラブ金子次期会長、一人置いて辻次期会長とおなじみの顔ぶれ! 湘南・沖縄部は、熟年パワーで頑張りましょう。横浜とつかクラブの方々は、日曜日に街頭募金の予定があり、みなさん日帰りでしたので、夜の「次期部長を囲んで」のプログラムは、厚木クラブの堀田会長・佐藤節子・北村文雄両LT委員、横浜クラブ金子次期会長と我々5人で、盛り上がりはしましたが参加クラブ数が少ないことが気掛かりでした。次期は「天気晴朗なれど、波高し」の船出となりそうです。

具体的に手続きの変更などについては、部報や評議会でお伝えする予定です。

(次期湘南・沖縄部 書記 林 茂博 記)

## ＜横浜北YMCAだより＞

春の訪れを感じる季節となりました。まだまだ、日ごとの寒暖の差もはげしく体調管理が簡単ではありません。また、花粉にも悩まされています。皆様いかがでしょうか?

今年の3月11日であの震災から4年目になります。北YMCAでも微力ながら支援の活動を続けています。3月8日は、新横浜駅周辺にて街頭募金を実施しました。サッカークラスや水泳クラスに通う子ども達と共に街頭募金を行いました。今回も本当に多くの募金が集まりました。

3月22日(日)には、辻堂海浜公園多目的広場にてサッカークラスに参加しているお友達とその家族の方々と一緒に「横浜YMCAチャリティサッカー」を実施いたします。当日の参加費の一部が募金になります。集まりました募金は、今回も気仙沼の鹿折FC、仙台YMCA・盛岡YMCAのサッカークラスの子供達を第29回東日本サッカー大会(3/26-28)へ招待するために用いられます。鹿折FCの方からチャリティサッカーへのコメントが届いています。

「東日本大震災から4年の月日が経過しようとしていますが、被災地の復興は、まだまだ実感出来ない状況にあります。鹿折FCとしては、ホームとして使用していた公民館グラウンドの津波による喪失の影響が大きく、未だ、練習場所確保に頭を悩ませております。このような状況下でも、練習に集まる選手達は、笑顔でボールを追いかけしております。昨年の東日本YMCAサッカー大会への招待という、勝ち負けをする試合の場の提供は、選手達へのとても良い刺激となりました。そこには、サッカーの楽しさの原点があり、震災後、雰囲気として下を向くことが多かった子供達に夢と希望を与えてくれました。被災地、宮城気仙沼でも、ひたむきに頑張るジュニアのサッカー選手達に、ご支援いただけたなら幸いです。彼らの未来の光へ向けて、チームとして、最大限の機会を与えてあげたいと願っております。」

YMCAのプログラムに参加くださっている方々も、得意分野を通して被災された方々に寄り添えるよう支援を続けてくださっています。これもとてもうれしく、感謝を覚えます。ぜひ、お時間が許されましたら応援にいらしてください。

### 《4月行事予定》

- 4月 1日 横浜YMCA入会始業式
- 4月 4日 北YMCA成人クラス開始
- 4月 6日 北YMCA幼少クラス開始
- 4月29日 ヘルシーキッズキャンペーン



(館長 生井 和三)